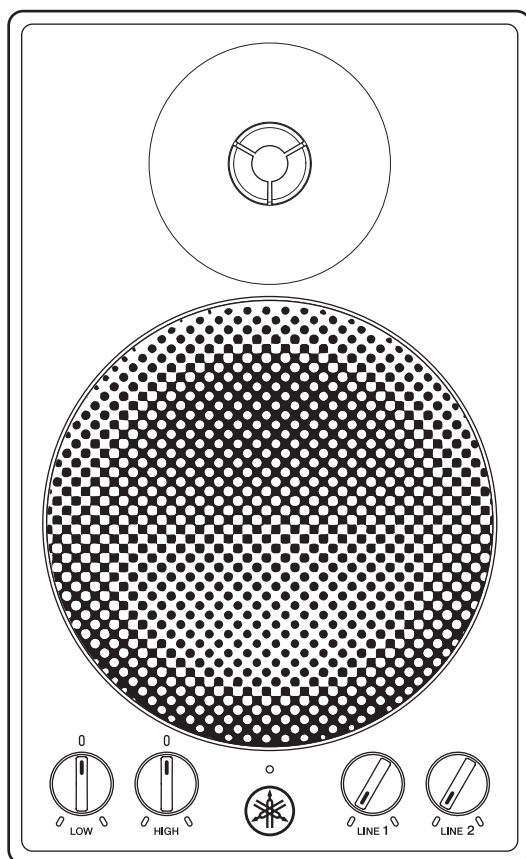




パワードスピーカーシステム

MSP3A

取扱説明書



このたびは、ヤマハ パワードスピーカーシステム MSP3A をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。MSP3A は、コンパクトなバスレフ式キャビネットに 10cm コーンスピーカー、2.2cm ドームスピーカーを採用した 2 ウェイ方式のパワードスピーカーで、その忠実な再現性はホームレコーディング等パーソナルユースから本格的プロユースまで幅広くお使いいただけます。MSP3A の優れた機能を十分に発揮させるとともに、未永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。お読みになったあとは保証書とともに保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

お読みになったあとは、本製品を使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度により区分して掲載しています。

記号表示について

本製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

| | |
|-----------|---|
| 注意喚起を示す記号 |  |
| 禁止を示す記号 |  |
| 行為を指示する記号 |  |



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード / プラグが破損した場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に水や異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

電源



禁止

電源コードが破損するようなことをしない。

- ・ストーブなどの熱器具に近づけない
 - ・無理に曲げない
 - ・傷つけない
 - ・電源コードに重いものをのせない
- 感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は本製品に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。

故障、発熱、火災などの原因になります。付属の電源コードは日本国内専用(125Vまで)です。



禁止

付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグのほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。必要に応じて、定期的にはこりを拭き取ってください。



必ず実行

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

火災やショートのおそれがあります。



必ず実行

本製品をコンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。電源プラグに容易に手が届き、操作できるように設置してご使用ください。



必ず実行

長時間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

火災や故障の原因になります。



禁止

雷が鳴りだしたときは、本製品や電源プラグに触らない。

感電の原因になります。

接続



必ず
接地接続

- 接地接続は必ず、主電源プラグをコンセントに差し込む前に行う。
- 接地接続の取り外しは、必ず主電源プラグをコンセントから抜いた状態で行う。

電源プラグには、アース線が付いています。必ずアース線を接地接続してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。確実に接地接続しないと、感電や火災、または故障の原因になります。



必ず
接地接続

電源プラグは保護接地されている適切なコンセントに接続する。

確実に接地接続しないと、感電や火災、または故障の原因になります。

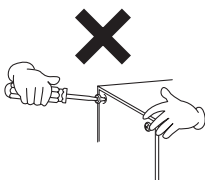
分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。



水に注意



禁止

- 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。

火災の原因になります。

聴覚障害



必ず実行

電源を入れたり切ったりする前に、必ず本製品や接続している機器の音量（ボリューム）を最小にする。

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。



必ず実行

オーディオシステムの電源を入れるときは、本製品をいつも最後に入れる。電源を切るときは、本製品を最初に切る。

聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。



注意 「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

電源



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

設置と接続



禁止

不安定な場所や振動の多い場所に置かない。

本製品が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



禁止

本製品を子供の手の届くところに置かない。

本製品は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。



必ず実行

オーディオラックなどにマウントするときは、放熱のため、壁や他の機器との間に隙間をあけて設置する。

放熱が不十分だと製品内部に熱がこもり、火災や故障、誤動作の原因になることがあります。

本機の周囲に上 30cm、左右 10cm、背面 20cm 以上のスペースを確保してください。

さらにラックの背面を開放するか、もしくはラックの背面に相当の通風孔を開けてください。



必ず実行

すべり止めなどで動かないように固定する。

固定せずに机や台の上に置いて使用すると、スピーカーシステム自身の振動により少しずつ移動するため、落下してけがや故障の原因になります。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。

故障の原因になります。



必ず実行

本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行う。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々々が転倒したりするおそれがあります。



禁止

スピーカーのリアパネルを壁に押しつけない。

スピーカーを壁に押し付けると、電源プラグが壁に接触し、電源コードが外れてショートするなど、故障や火災の原因となるおそれがあります。

お手入れ



必ず実行

本製品をお手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電の原因になることがあります。

取り扱い



禁止

本製品のバスレフポート（背面の穴）に手や指を入れない。

けがをするおそれがあります。



禁止

本製品の上ののったり重いものをのせたりしない。

本製品が破損したり、けがをしたりする原因になります。



禁止

音がひずんだ状態では本製品を使用しない。

本製品が発熱し、火災の原因になることがあります。

使用上のご注意

製品の故障、損傷や誤動作を防ぐため、以下の内容をお守りください。

製品の取り扱い / お手入れに関するご注意

- テレビやラジオなど、他の電気製品の近くで使用しない。
本製品、または他の電気製品に雑音が生じる原因になります。
- 極端に温度の高いところや低いところ、ほこりや振動の多いところで使用しない。
本製品のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- 温度変化が激しい場所に設置しない。
製品内部や表面に結露が発生し、故障する原因になります。
- 結露が発生しているおそれがあるときは、しばらく放置してから電源を入れる。
結露した状態で電源が入ると、故障の原因になります。

- スピーカーユニットに触れない。
故障の原因になります。
- 本製品上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。
パネルの変色 / 変質の原因になります。
- お手入れのときは、乾いた柔らかい布を使用する。ベンジン、シンナー、洗剤、化学ぞうきんなどで製品の表面を拭かない。
変色 / 変質する原因になります。

お知らせ

製品の機能 / データに関するお知らせ

- XLR タイプコネクターのピン配列は、以下のとおりです (IEC60268 規格に基づいています)。
1: グラウンド (GND)、2: ホット (+)、3: コールド (-)

取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて説明のためのものです。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。

廃棄に関するお知らせ

- 本製品は、リサイクル可能な部品を含んでいます。廃棄される際には、廃棄する地方自治体にお問い合わせください。

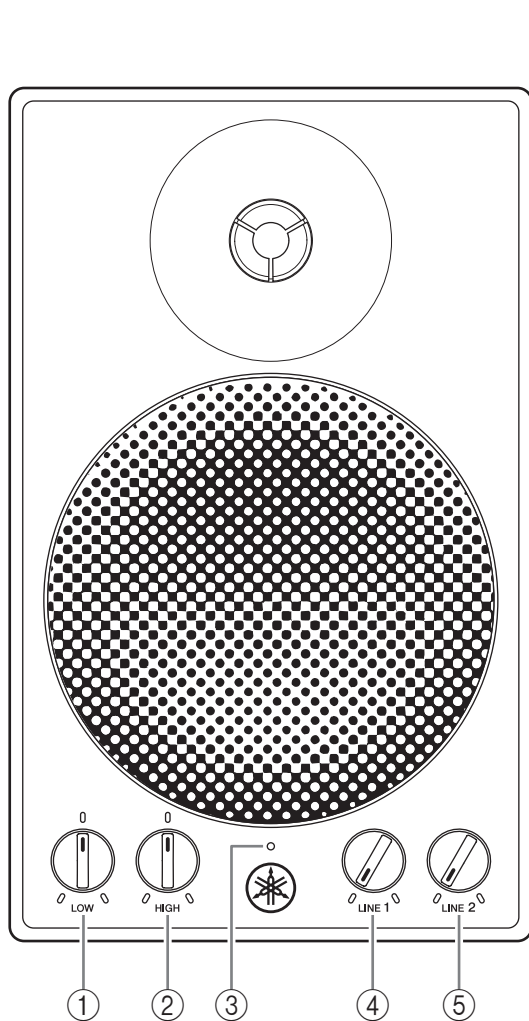
不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

付属品

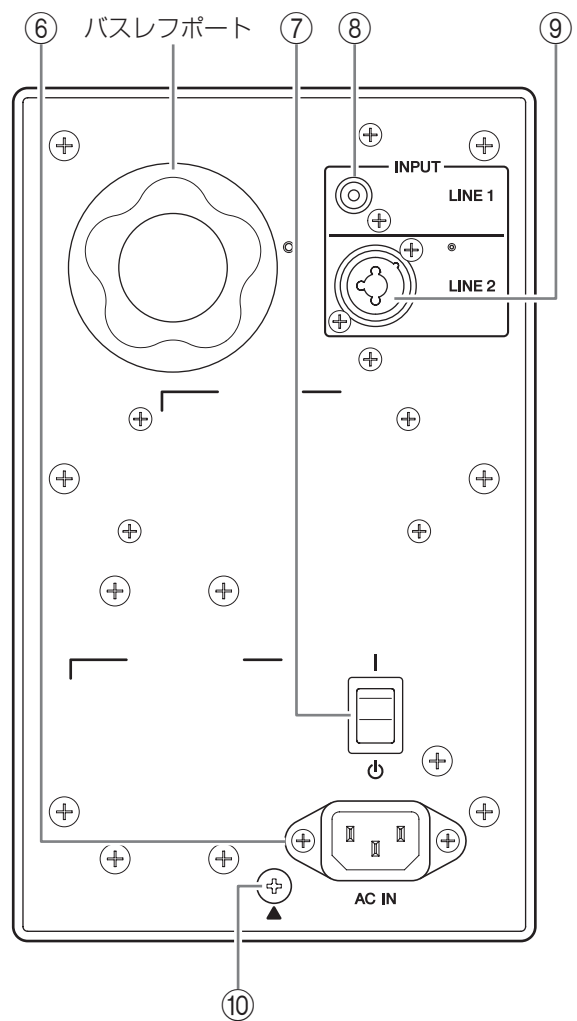
- 電源コード × 1
- 電源プラグ変換アダプター (3P → 2P) × 1
- 取扱説明書 (本書) : 保証書が裏表紙にあります。

フロントパネル、リアパネル



ご注意

バッフル前面を下にして置かないでください。



ご注意

バスレフポートから空気が吹き出す場合がありますが、本製品の故障ではありません。特に、低音成分の多い音を出力する場合に起こります。

① LOW コントロール

低音域を調整します。基準周波数 100Hz で 0 ~ ± 3dB の範囲で調整します。つまみが 12 時の位置でフラットな特性となり、右に回すとブースト、左に回すとカットします。

② HIGH コントロール

高音域を調整します。基準周波数 10kHz で 0 ~ ± 3dB の範囲で調整します。つまみが 12 時の位置でフラットな特性となり、右に回すとブースト、左に回すとカットします。

③ パワーインジケータ

リアパネルの電源スイッチ (7) をオンにすると点灯します。

④ LINE 1 レベルコントロール

リアパネルの INPUT LINE 1 端子 (8) に入力された信号の音量レベルを調整します。左に回すと音量が小さくなり、右に回すと音量が大きくなります。

⑤ LINE 2 レベルコントロール

リアパネルの INPUT LINE 2 端子 (9) に入力された信号の音量レベルを調整します。左に回すと音量が小さくなり、右に回すと音量が大きくなります。

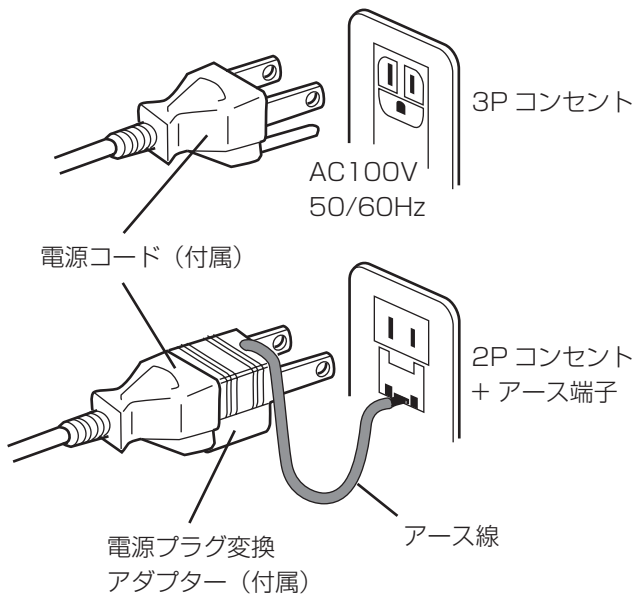
⑥ AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。まず本製品と電源コードを接続し、次に AC プラグを AC100V 50/60Hz コンセントに接続します。アースソケットのないコンセントの場合は、付属の電源プラグ変換アダプターを使い、アース線をコンセントのアース端子に接続します。電源コードを外すときは、逆の手順で行なってください。



警告

- MSP3A は、アース接続を行うことを前提として設計されています。感電と機器の損傷を防ぐため、付属の電源コードを使って下図のとおりアース接続を確実に行ってください。なお、接続方法がわからないときは、巻末のヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。



- 電源コードは、必ず付属のものをお使いください。他の電源コードを使用すると、発熱や感電の原因になります。
- 電源は必ず AC100V を使用してください。

⑦ 電源スイッチ

MSP3A の電源をオン (I)、オフ (O) するスイッチです。オンにするとパワーインジケータ (3) が緑色に点灯します。

ご注意

電源スイッチのオン/オフを連続して素早く切り替えると、誤動作の原因になることがあります。電源スイッチをオフにしてから再度オンにする場合は、6 秒以上の間隔を空けてください。

⑧ INPUT LINE 1 端子

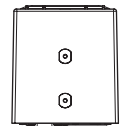
RCA ピンジャックに対応する入力端子です。

⑨ INPUT LINE 2 端子

XLR-3-32 とフォーンの両プラグに対応した、バランス入力のコンボ端子です。ミキサーなどのラインレベルの信号を入力します。

天井や壁に吊る

本体底面に M5 x 長さ 12~15 mm のネジ 2 本を使って別売りのブラケットを取り付ければ、天井や壁に吊ることができます。

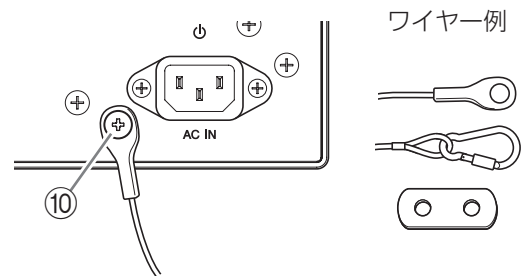


注意

スピーカーが動かない様に、ブラケットは確実に固定してください。

⑩ 安全ワイヤー共締めネジ

吊り下げ時は、背面下部にあるネジ (10) を取り外して、安全ワイヤーを取り付けて共締めしてください。



ワイヤー取付け例



注意

- ワイヤーを使って、必ず落下防止対策を施してください。
- ワイヤーは同梱していません。イラストを参考に用意してください。
- ワイヤー、壁、天井、接続金具などは、スピーカーの重量に十分耐えられる強度のものか確認してください。
- 安全ワイヤーを壁に取り付ける場合は、スピーカーのワイヤー取り付け位置より高いところに、あまりたるみが出ないように取り付けてください。長さに余裕がありすぎると、落下時に運動エネルギーがワイヤーに多くかかって断線する場合があります。
- 安全にご使用いただくため、定期的に保守点検を行ってください。摩耗や腐食などにより、部品が劣化する場合があります。

困ったときは

| 症状 | 考えられる原因 | 対策方法 |
|--|-------------------|---|
| 電源が入らない、 フロントパネルの パワーインジケー ターが点灯しない | 電源コードが正しく接続されていない | 電源コードを正しく接続してください。 |
| | 電源スイッチがオンになっていない | 電源スイッチをオンにしてください。 それでも電源が入らない場合は、ヤマハ 修理ご相談センターにご連絡ください。 |
| 音が出ない | ケーブルが正しく接続されていない | ケーブルを正しく接続してください。 |
| | 外部機器から信号が出力されていない | 外部機器から信号を出力してください。 |
| | レベルが低い | 外部機器からの出力を上げるか、LEVEL コントロールでレベルを上げてください。 |
| 音が異常 | ケーブルが劣化 / 断線している | ケーブルを交換してください。 |
| | 外来ノイズを拾っている | ケーブルの配置を変えてみてください。 |
| | | スピーカー周辺にある機器の位置を変えて みてください。 |

仕様

| 主要規格 | |
|-----------------------------|------------------------------|
| システムタイプ | パワードスピーカー |
| 再生周波数帯域 (-10 dB) | 67 Hz ~ 22 kHz |
| クロスオーバー周波数 | 4 kHz |
| 最大出力音圧 (実測値ピーク、IEC ノイズ @1m) | 99 dB SPL |
| 電源電圧 | 100 V, 50/60 Hz |
| 消費電力 | 30 W |
| 寸法 (W x H x D) | システム (最大) 144 x 236 x 166 mm |
| 質量 | 3.6 kg |

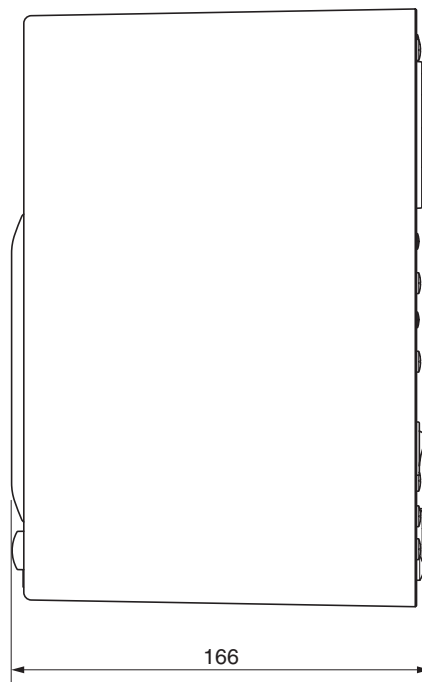
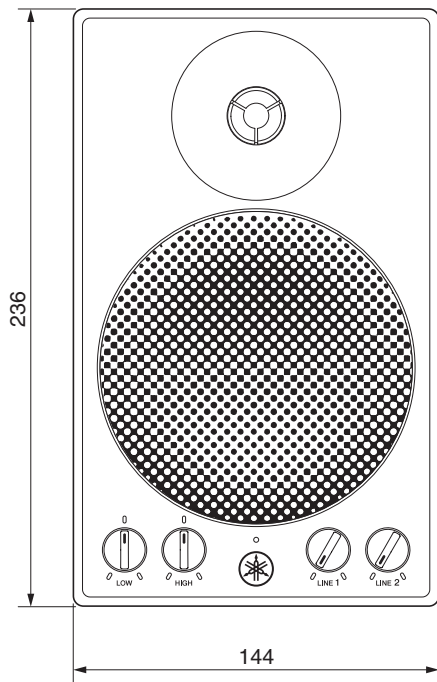
| アンプ部 | |
|-----------------|---|
| 定格最大出力 | THD 0.1%, 1kHz, RL=4 Ω 22 W |
| 入力感度 | Input Sensitivity, Input Impedance LINE 1 : -10 dBu, 10 k Ω (RCA) |
| | Input Sensitivity, Input Impedance LINE 2 : +4.0 dBu, 10 k Ω (COMBO) |
| コネクタ | LINE 1 : RCA |
| | LINE 2 : COMBO (XLR/PHONE) |
| レベルコントロール | LINE1、LINE2 |
| トーンコントロール 特性 | LOW : -3.0 dB ~ +3.0 dB at 100 Hz |
| | HIGH : -3.0 dB ~ +3.0 dB at 10 kHz |
| インジケータ | 緑 LED |

| スピーカー部 | |
|---------|--------------------|
| 形式 | 2Way バスレフ型 |
| コンポーネント | ツイーター : 2.2 cm ドーム |
| | ウーファー : 10 cm コーン |

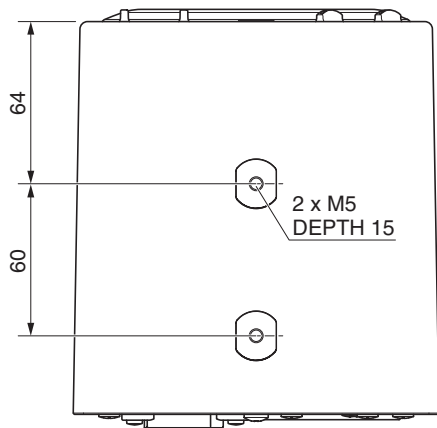
| アクセサリ | |
|-------|--------------------------|
| 付属品 | 電源コード、3芯-2芯変換アダプター、取扱説明書 |

* 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

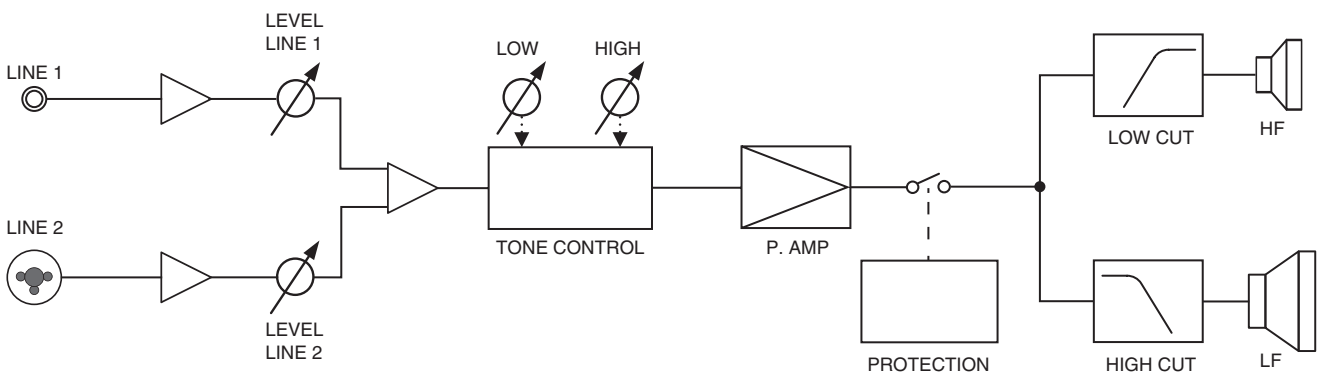
寸法図



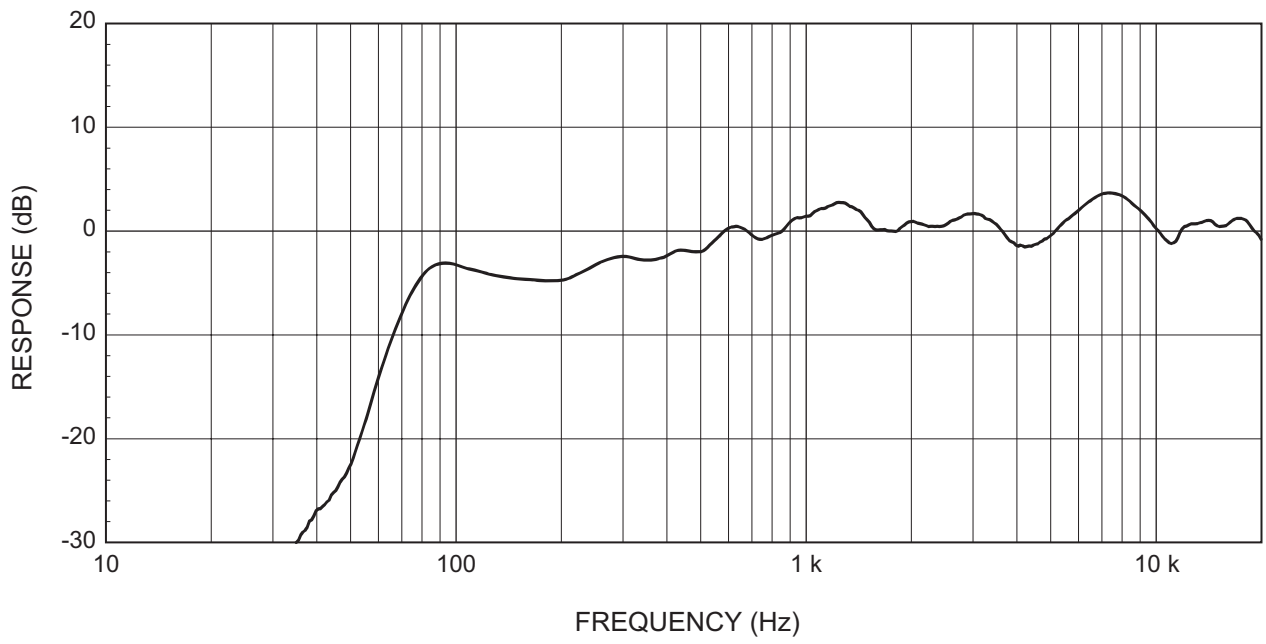
単位 : mm



ブロックダイアグラム



特性图



アフターサービス

お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げ店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター
 **0570-050-808**
ナビダイヤル®
※固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **03-5488-5447**
受付時間 月曜日～金曜日 11:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)
オンラインサポート <https://jp.yamaha.com/support/>

●修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター
 **0570-012-808**
ナビダイヤル®
※固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**
FAX **03-5762-2125** 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)
06-6649-9340 西日本(北陸/近畿/四国/中国/九州/沖縄)

修理品お持込み窓口
東日本サービスセンター
〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
JMT 京浜E棟A-5F
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター
〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ビル7F
FAX 06-6649-9340

受付時間
月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

●販売元

(株)ヤマハミュージックジャパン PA 営業部
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12
KDX 箱崎ビル

保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

●保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間と期間中の修理

保証書をご覧ください。保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのかは、製品ごとに定められています。

●保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。使用時間や使用環境などで劣化する下記の有寿命部品などは、消耗劣化に応じて交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

有寿命部品

フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

●損害に対する責任

本製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

* 名称、住所、電話番号、営業時間、URL などに変更になる場合があります。

持込修理

保証書

| | | |
|---------|------------------------|--------------|
| 品名 | パワードスピーカーシステム | |
| 品番 | MSP3A | |
| ※シリアル番号 | | |
| 保証期間 | 本体 | お買上げの日から1ケ年間 |
| ※お買上げ日 | 年 月 日 | |
| お客様 | □□□-□□□□ | |
| | ご住所 お名前 電話 () 様 | |

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)をあわせてご提示ください。

(詳細は下項をご覧ください)

| | | |
|------|--------|---|
| ※販売店 | 店名 | 印 |
| | 所在地 | |
| | 電話 () | |

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部
〒103-0015
東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル
TEL. 03-5652-3850

保証規定

- 保証期間中、正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

* この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。

* ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報は、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。

* その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<http://www.yamahaproaudio.com/>
ヤマハダウンロード
<https://download.yamaha.com/>

Manual Development Group
© 2020 Yamaha Corporation
2021年2月 発行
IPEI-B0

VFE4690